

令和3年8月31日

大和市長 大木 哲 様

大和市民参加推進・評価会議  
会 長 長谷部 美由紀

令和2年度市民参加手続の実施状況に対する総合評価について（答申）

令和3年7月29日付で諮問を受けた標記の件について、本審議会で審議した結果、次のとおり意見を付しておおむね適正なものと認めます。

【付帯意見】

- 令和2年度は施策・計画等の15事案で審議会等や意見公募手続などの市民参加手続が実施されており、コロナ禍にあっても審議会等の書面開催などを活用しながら、積極的に市民参加手続が実施されたものと評価します。
- 意見交換会や審議会等において、新型コロナウイルスの影響が続く中でも、相互に意見交換できるよう、Web会議システムによる実施を取り入れることも必要です。都市計画マスタープランの改定に当たって、Web会議システムによる意見交換の機会を設けたにも関わらず利用がなかった理由について精査をし、今後の実施手法に生かしていくことを求めます。
- 意見公募手続においては、事案によって意見数に大幅な差が見られることから、実施に当たって、より多くの市民の目に触れるよう、周知方法を工夫するよう求めます。
- 大和歩きスマホの防止に関する条例や大和終活支援条例など、大和独自の取り組みについては、条例制定後に分かりやすい情報提供を行うとともに、制度の推進や活用が効果的に図られていくことを期待します。
- 審議会等委員の公募状況について、指定管理者選定委員会にて応募が少ないとの報告があり、より多くの市民参加が図られるよう、募集の際の表記を工夫するなど、効果的な周知方法の検討を求めます。

以上